令和８年度　第１回 吉田町地域公共交通協議会　会議録	開催	日時	令和７年５月 20 日（水） 午前 14 時 00 分～16 時 05 分
		場所	吉田町役場２階 町民ホール

報告	⑴ 令和７年度事業報告及び収支決算報告について ⑵ “ぎゅっと”カーよしだ利用実績及び会員アンケート調査結果について ⑶ 次期吉田町地域公共交通計画策定に係る補助金の採択結果について ⑷ 「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクトの採択結果について
議事	⑴ 令和８年度事業計画案及び収支予算案について ⑵ 吉田町地域公共交通計画の進捗状況と令和８年度の取組について ⑶ 次期吉田町地域公共交通計画の基本的な考え方について ⑷ 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金の認定申請について
その他	・「ハッピーライド in 静岡プロジェクト」について ・協議運賃の設定について
出席委員	14 名
欠席委員	3 名
会議の成立	委員総数 17 名の内 14 名が出席。過半数を超えており会議成立
ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	1 名
傍聴者	0 名
次第	**１　開会** **２　あいさつ** **３　委員の委嘱** **４　静岡運輸支局企画調整担当より** **「活発で良い議論ができる会議」について** **５　報告事項** **６　協議事項** **７　その他** **８　閉会**
報告	<u>⑴令和７年度事業報告及び収支決算報告について</u> 事務局より資料 No.1 に基づき、令和７年度の事業報告及び収支決算報告について説明が行われた。 あわせて、監査員より監査報告が行われた。 【質疑・意見等】 （委員） ○質問事項無し
	<u>⑵“ぎゅっと”カーよしだ利用実績及び会員アンケート調査結果について</u>

	事務局より資料 No.2 に基づき、″ぎゅっと″カーよしだの利用実績及び会員アンケート調査結果について説明が行われた。 【質疑・意見等】 （委員） 〇質問事項無し
	⑶次期吉田町地域公共交通計画策定に係る補助金の採択結果について 事務局より資料 No.3 に基づき、次期吉田町地域公共交通計画策定に係る補助金の採択結果について説明が行われた。 【質疑・意見等】 （委員） 〇補助金は予算の範囲内で交付される仕組みであり、吉田町に限らず全国の自治体が同様の補助金を活用していることから、査定の結果、補助金額が申請額より減額となったものと思われる。
	⑷「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクトの採択結果について 事務局より資料 No.4 に基づき、「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクトの採択結果について説明が行われた。 【質疑・意見等】 （委員） 〇報告事項⑶の補助金は地域公共交通計画を策定するためのものであり、全国で 1,700 本近い計画が存在する中、新たな計画のアップデートを支援することを目的としたものである。 　一方、本プロジェクトの補助金は、国として推進したいが実現が難しかった取組みに対して交付されるものであり、独自性のない内容では採択されない性質のものである。吉田町については、“ぎゅっと”カーやタクシーといった既存サービスが整っている一方で、それらでカバーしきれていない住民への対応を前面に打ち出した申請内容が評価され、採択に至ったものと考えられる。 　採択されたことは町への期待の表れであり、困っている住民が実際に利用できるサービスの実現と、吉田町の先進的な取組みの発信に向けて、引き続き努力・協力していきたい。

議事	⑴令和８年度事業計画案及び収支予算案について 事務局より資料 No.5 に基づき、令和８年度事業計画案及び収支予算案について説明が行われた。 【質疑・意見等】 （委員） ○質問事項無し 【結果】 原案のとおり承認された。
	⑵吉田町地域公共交通計画の進捗状況と令和８年度の取組について 事務局より資料 No.6 に基づき、吉田町地域公共交通計画の進捗状況と令和８年度の取組について説明が行われた。 【質疑・意見等】 （委員） ○リ・デザイン全面展開プロジェクトのスケジュールに記載されている応募手続きに関連して、応募協議の際に牧之原市への乗り入れについて伺っていたが、牧之原市との調整状況について確認したい。 （事務局） ○本日、状況を把握している担当職員が不在のため、会議終了後に確認の上、報告する。 （委員） ○吉田町内における幹線系統との接続の重要性について意見を述べたい。現在、私立高校では通学バスを運行しており、これが進学先の選択に影響を与えている。一方、公立高校は通学の不便さから生徒数が減少している。島田工業高校では朝の渋滞が深刻であり、高速バスを利用して静岡市内の技能系高校へ進学する生徒も増えている。また、東名焼津西バス停留所が交通結節点として機能しており、周辺高校への通学利用が増加している。令和８年度においては、目的地までのネットワーク整備など、広域的な視点での議論を進めていきたい。 ○島田市においても周辺市町との連携が十分でないとの報告があっ

	た。吉田町の委員として、他市町との連携推進に取り組んでいきたい。 〇私立高校の無償化が進む中、公立高校は生徒確保が困難な状況となっている。榛原高校のスクールバスも継続が難しい状況であり、既存の交通事業者との連携強化が必要である。交通手段の有無が高校の偏差値や倍率に全国的に影響を与えていることからも、交通問題の解消は重要な課題である。吉田町から大井川・焼津方面へのアクセス改善についても検討すべきである。 【結果】 原案のとおり承認された。
	⑶次期吉田町地域公共交通計画の基本的な考え方について 事務局より資料 No.7 に基づき、次期吉田町地域公共交通計画の基本的な考え方について説明が行われた。 【質疑・意見等】 （委員） 〇現行計画の進捗評価において未達成の項目があるが、これは取組を怠った結果ではなく、検討の結果として実施しないと判断したもの、または実施できないと結論付けたものである。未達成項目については、本当に不要なのか、あるいは別の手段で目標を達成すべきかを改めて選別する必要がある。 “ぎゅっと”カーの普及により、バスへの乗り継ぎ手段としての活用が可能となった。これにより、町内のバス停を細かく回る必要性が低下するなど、５年前に想定した方法とは異なる形で目標を達成できる可能性がある。次期計画においては、従来の計画どおりに進めるか、新たな方向性で進めるかについて、引き続き議論を重ねながら検討していく必要がある。 交通拠点の整備については、現行計画で挙げた４つの拠点（吉田 IC・小山城・片岡北吉田特別支援学校前・吉田町役場）の位置づけが課題である。具体的には以下のとおりである。 • 片岡北吉田特別支援学校前 ― 町内で唯一３路線すべてが停車する停留所であるが、用地確保が困難であり、バスの乗り継ぎや“ぎゅっと”カーとの接続も難しい状況である。 • 吉田町役場 ― ２路線が乗り入れており、島田静波線を役場まで延伸・経由させることも検討されるが、実現は容易ではない。

	• 吉田 IC ― 交通結節点としての可能性があるが、整備した場合、吉田町外からの利用者による駐車場の占有が懸念される。 • 小山城停留所 ― 吉田 IC や吉田町役場の停留所が整備された場合、不要となる可能性があり、また土日の利便性にも課題がある。 また、北オアシスパークへのバス路線の未整備や、役場周辺停留所の結節点としての活用についても、次期計画において検討すべき課題である。将来的にバスや“ぎゅっと”カーが拠点に集まる形が実現すれば、駅やターミナルに相当する機能を果たすことができると考える。 （議長） ○大規模な駐車場を整備した場合、バスを利用しない人や他市町の住民が駐車場のみを利用するいわゆる「置き去り駐車」が発生する懸念があるが、その抑止策はどのように考えるか。 （委員） ○コインパーキング方式を導入し、役場等の施設利用者やバス定期券保持者に対して駐車料金を軽減する仕組みは技術的に実現可能であり、他地域でも同様の取組が行われている。パークアンドライドの運用開始後に想定外の事態が生じた場合は、その都度対策を講じることで対応できると考える。 【結果】 原案のとおり承認された。
	⑷地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金の認定申請について 事務局より資料 No.8 に基づき、地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金の認定申請について説明が行われた。 【質疑・意見等】 （委員） ○目標設定の内容は更新されているか。 （事務局） ○今年度の目標に合わせて設定している。 （委員）

	○本補助金の対象期間は今年度 10 月から来年度９月までとなっており、地域公共交通計画に示している年度単位の数値目標とは期間がずれる点に注意が必要である。通常であれば半年ずれても大きな差は生じないが、“ぎゅっと”カーは利用者数が増加傾向にあるため、半年のずれによって数値が大きく変わる可能性がある。目標値の設定にあたっては、この点を十分に確認しておくことが望ましい。また、目標の達成状況による査定は現状行われていないが、評価の対象となるため、確認をしっかりと行っておくべきである。 【結果】 原案のとおり承認された。
その他	<u>ハッピーライド in 静岡プロジェクトについて</u> 静岡県交通基盤部都市局地域交通課より資料 No.9 に基づき、ハッピーライド in 静岡プロジェクトについて説明が行われた。 【質疑・意見等】 （委員） ○質問事項無し
	<u>協議運賃の設定について</u> 事務局より資料 No.10 に基づき、協議運賃の設定について説明が行われた。 【質疑・意見等】 （委員） ○質問事項無し
	閉会（11：48）